

じゅ 受	けん 検	ばん 番	ごう 号	し 氏	めい 名

令和 6 年度

1 級電気工事施工管理技術検定

第一次検定問題(午前の部)

[注 意 事 項]

- ページ数は、表紙を入れて 21 ページです。
- 試験時間は、10 時 15 分から 12 時 45 分までです。
- 解答は、次によつてください。
 - [No. 1] から [No. 6] までの 6 問題は、全問解答してください。
 - [No. 7] から [No. 12] までは、6 問題のうちから 4 問題を選択し、解答してください。
 - [No. 13] から [No. 44] までは、32 問題のうちから 14 問題を選択し、解答してください。
 - [No. 45] から [No. 52] までは、8 問題のうちから 5 問題を選択し、解答してください。
 - [No. 53], [No. 54] の 2 問題は、全問解答してください。
- 選択問題の解答数が指定数を越えた場合は、減点となります。
- 問題は、四肢択一式です。正解と思う肢の番号を、塗りつぶしてください。
- 解答は、別の解答用紙に、HB の芯を用いたシャープペンシル又は HB の鉛筆で記入してください。
それ以外のボールペン・サインペン・色鉛筆などを使用した場合は、採点されません。
- マークを訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
消しかたが十分でないと指定数を越えた解答となり、減点となります。
- 解答用紙は、雑書きをしたり、汚したり、折り曲げたりしないでください。
- この問題用紙の余白を、計算などに使用することができます。
- 漢字に付したふりがなは補足であり、異なる読み方の場合があります。
- この問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者は持ち帰ることができます。
途中退席者や希望しない方の問題用紙は回収します。

※ 問題番号 [No. 1] から [No. 6] までの 6 問題は、全問解答してください。

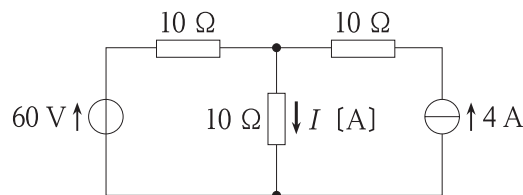
[No. 1] $5\ \Omega$ の抵抗に $100\ \text{V}$ の電圧を一定時間加えたとき、この抵抗に $6 \times 10^5\ \text{J}$ の熱量が発生した。加えた時間 [分] として、**適当なものはどれか。**

1. 5分
2. 6分
3. 21分
4. 25分

[No. 2] 巻数 200 回のコイルに $2\ \text{A}$ の電流を流したところ、 $1 \times 10^{-3}\ \text{Wb}$ の磁束が発生した。このコイルの自己インダクタンスの値 [H] として、**適当なものはどれか。**

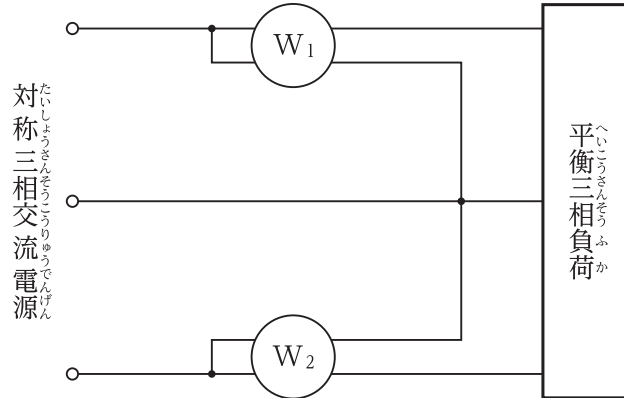
1. 0.1 H
2. 0.4 H
3. 2.5 H
4. 10.0 H

[No. 3] 図に示す、電圧 $60\ \text{V}$ の理想電圧源、電流 $4\ \text{A}$ の理想電流源及び $10\ \Omega$ の抵抗からなる直流通路がある。電流 I [A] の値として、**適当なものはどれか。**



1. 4 A
2. 5 A
3. 6 A
4. 7 A

[No. 4] 図に示す平衡三相回路の電力を測定する二電力計法において、線間電圧が200 V、線電流が30 Aのとき、電力計の指示値が、 $W_1 = 4 \text{ kW}$ 、 $W_2 = 2 \text{ kW}$ であった。このときの負荷の力率の値として、最も適当なものはどれか。



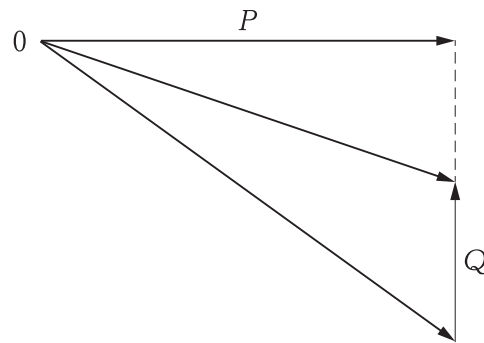
1. 0.50
2. 0.58
3. 0.71
4. 1.00

[No. 5] 鉄損が500 Wの単相変圧器において、定格電圧時の二次電流が100 Aのときの全損失が700 Wであった。定格電圧時の二次電流を200 Aとした場合の全損失の値 [W] として、適当なものはどれか。

ただし、鉄損及び銅損以外の損失は、無視できるものとする。

1. 900 W
2. 1300 W
3. 1400 W
4. 2800 W

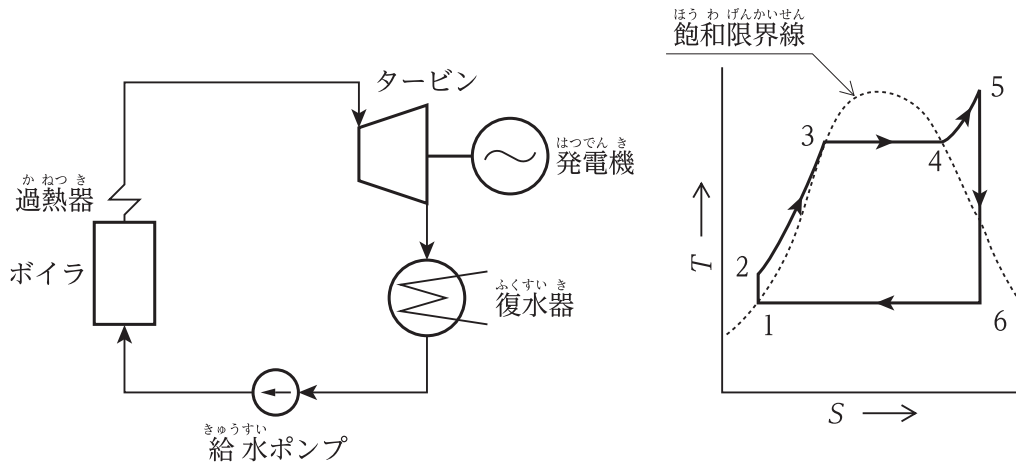
[No. 6] 有効電力 P が 600 kW で力率 0.6 の三相負荷がある。この負荷に並列に進相コンデンサを接続したところ、力率は 0.8 に改善された。このときの進相コンデンサの容量 Q [kvar] として、**適当なもの**はどれか。



1. 350 kvar
2. 360 kvar
3. 450 kvar
4. 480 kvar

※ 問題番号 [No. 7] から [No. 12] までは、6 問題のうちから 4 問題を選択し、解答してください。

[No. 7] 図に示す汽力発電のランキンサイクルにおいて、タービンの入口から出口に至る蒸気のエン트로ピー S と絶対温度 T の変化を示す過程として、**適当なもの**はどれか。



1. 2 → 3
2. 3 → 4
3. 4 → 5
4. 5 → 6

[No. 8] 変電所に用いられる保護継電器に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 過電流継電器は、電流が整定値以上になった場合に動作するもので、短絡事故又は過負荷の検出に用いられる。
2. 不足電圧継電器は、電圧が整定値以下になった場合に動作するもので、短絡事故又は停電の検出に用いられる。
3. 比率差動継電器は、保護区間に流入する電流と保護区間から流出する電流の差により動作するもので、主に外部事故から機器を保護するために用いられる。
4. 距離継電器は、電圧と電流の比によって動作するもので、主に送電線保護用として用いられる。

[No. 9] 電力系統における短絡容量の軽減対策に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 変電所の母線を分離する。
2. 送電線に限流リアクトルを設置する。
3. 直流连系により交流系統を分割する。
4. 低インピーダンスの変圧器を採用する。

[No. 10] 直流送電方式の特徴に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 交流送電方式に比べて、高電圧・大電流の遮断が困難である。
2. 交直変換所での高調波障害対策が不要である。
3. 周波数の異なる交流系統間の連系に用いられる。
4. 交流送電方式に比べて、長距離・大電力の送電に適している。

[No. 11] 据置鉛蓄電池に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. ベント形蓄電池のHS形は、CS形より長寿命である。
2. 電解液の比重は、放電すると下がり、充電により回復する。
3. 蓄電池から放電できる容量は、放電電流が大きくなるほど減少する。
4. 定格容量は、規定の条件下で放電終止電圧まで放電したときに取り出せる電気量である。

[No. 12] 三相誘導電動機 の速度制御に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. $\frac{V}{f}$ 一定制御は、電源の電圧と周波数を同時に可変して行う制御方式である。
2. 一次電圧制御は、トルクが一次電圧の2乗に比例することを利用して制御する方式である。
3. 極数切替制御は、極数を変化させて段階的に制御する方式で、極数を増やすと回転速度が低下する。
4. 二次抵抗制御は、比例推移を利用し二次抵抗を変化させて制御する方式で、抵抗値を大きくすると回転速度が増大する。

※ 問題番号 [No. 13]から[No. 44]までは、32問題のうちから14問題を選択し、解答してください。

[No. 13] 水力発電に用いる水車に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. フランス水車は、負荷が変化しても、効率はほぼ一定である。
2. フランス水車には、ランナの出口から放水面までの接続管として、吸出し管が設置される。
3. ペルトン水車は、フランス水車と比較して、高落差での比速度が小さい。
4. ペルトン水車は、動作原理によって大別すると、衝動水車に分類される。

[No. 14] 風力発電に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. ダリウス形風車は、垂直軸形に分類される。
2. プロペラ形風車は、風速変動に対する回転速度の制御が容易である。
3. ナセルは、風車ロータ回転面を風向に追従させる運転制御装置である。
4. ピッチ制御装置は、風況に応じてブレードの設置角度を制御する装置である。

[No. 15] 変電所に用いられるガス絶縁開閉装置(GIS)の特徴に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 工場組立による一体輸送が可能であり、現場の工事が簡素化される。
2. 絶縁に用いられる六フッ化硫黄(SF₆)は、地球温暖化係数が二酸化炭素(CO₂)に比べて小さい。
3. 内部事故の場合、金属容器で密閉されているため故障個所が発見しにくく、復旧に時間がかかる。
4. 三相一括形GISは、容器を多点接地しても誘導電流の大きさは問題にならない。

[No. 16] 電力系統保護の基本的な考え方として、最も不適当なものはどれか。

1. 事故除去のための遮断区間を必要最小限にとどめ、停電範囲を局限化する。
2. 隣り合った保護区間は保護範囲が重ならないようにして、事故を検出する。
3. 基幹系統など重要性を考慮して複数の保護継電器を設置し、保護の確実化を図る。
4. 主保護が何らかの原因で不動作となっても事故が除去できるよう、後備保護を検討する。

[No. 17] 系統運用上の揚水発電の特徴に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 軽負荷時に揚水することで、系統の負荷率を改善し火力発電所の稼働率が向上する。
2. 可変速揚水発電システムは、系統需要が少ないときに揚水運転をしながら周波数調整を可能とする。
3. 系統の供給余力電気エネルギーを水の位置エネルギーに変換して蓄え、これを必要時に電気エネルギーに変換して供給する。
4. 揚水運転から発電運転への出力変化に時間を要するため、事故時や急な需要ひっ迫に対処する予備力とするには不向きである。

[No. 18] 架空送電線路に使用されるアルミ電線に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. アルミ線を使用することで、銅線に比べ自重が減り長径間に有利になり、風雪の影響を受けにくくなる。
2. アルミ線を使用することで、銅線に比べ導体が太くなるため表面電界が小さくなり、コロナ放電が発生しにくくなる。
3. 鋼心耐熱アルミ合金より線(TACSR)は、鋼心アルミより線(ACSR)と比較して許容電流が大きく、大容量送電が可能である。
4. アルミ覆鋼心アルミより線(ACSR/AC)は、鋼心アルミより線(ACSR)と比較して耐食性が高く、海岸地帯等に採用されている。

[No. 19] 架空送電線路における電線の微風振動に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 比較的緩やかで様な風が吹いている時、電線が上下に振動する現象である。
2. 懸垂箇所よりも耐張箇所、断線の被害が発生しやすい。
3. 支持物の径間が長く、電線の張力が大きいほど発生しやすい。
4. 振動による電線の断線防止対策として、アーマロッドを取り付ける方法がある。

[No. 20] 架空送電線路の線路定数に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 交流電流の場合の抵抗値は、直流抵抗値より大きくなる。
2. 作用インダクタンスは、地中送電線路より小さくなる。
3. 静電容量には、各相の対地静電容量と線間静電容量がある。
4. 漏れコンダクタンスは、送電特性の計算上は無視できるほど小さい場合が多い。

[No. 21] 地中送電線路における電力ケーブルの送電容量を増大させる方法に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. ケーブルを冷却する。
2. 導体に素線絶縁導体を使用する。
3. 誘電正接の大きい絶縁体を使用する。
4. ケーブルの金属シースの抵抗を大きくする。

[No. 22] 架空送電線路の雷害対策に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 雷の直撃を防止するため、鉄塔に架空地線を施設する。
2. 鉄塔逆フラッシュオーバを防止するため、塔脚接地抵抗を減少させる。
3. 2回線送電線での同時事故を避ける対策として、不平衡絶縁方式がある。
4. がいしのフラッシュオーバを防止するため、相間スパーサを取り付ける。

[No. 23] 高圧配電線路に連系する分散型電源の単独運転を検出する保護リレー等として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、不適當なものはどれか。

1. 転送遮断装置
2. 逆電力リレー
3. 短絡方向リレー
4. 周波数低下リレー

[No. 24] 配電系統の電圧調整に関する記述として、最も不適當なものはどれか。

1. こう長が長い配電線路の電圧降下を抑制するため、太い電線に張り替える。
2. こう長が長い高圧配電線路の電圧降下を抑制するため、配電線の送り出し部にステップ式自動電圧調整器を施設する。
3. こう長が長い配電線路の軽負荷時の電圧上昇を抑制するため、配電線の末端部に分路リアクトルを施設する。
4. 需要家の引込口の電圧を適正電圧に保持するため、柱上変圧器内部のタップを変更し、二次側電圧を調整する。

[No. 25] 事務所及び一般的な建物空間において、平均演色評価数(Ra)が80以上の光源を使用することが望ましい所として、「日本産業規格(JIS)」の「屋内照明基準」上、定められていないものはどれか。

1. 廊下
2. 便所
3. 事務室
4. ラウンジ

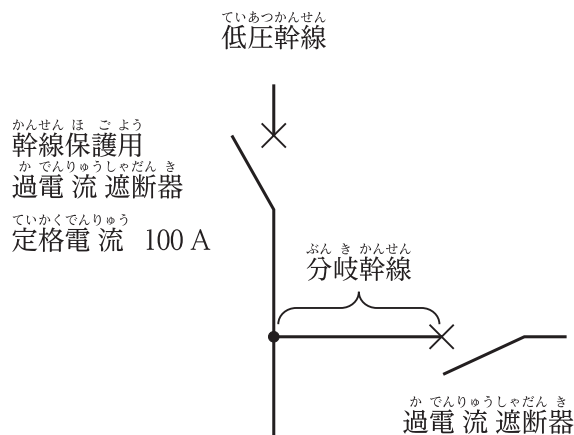
[No. 26] 事務室における分岐回路に関する記述として、「内線規程」上、不適當なものはどれか。

1. 20 A 配線用遮断器分岐回路には、12 個の 15 A コンセントを設けることができない。
2. 30 A 分岐回路には、1 個の 15 A・20 A 兼用コンセントを設けることができない。
3. 40 A 分岐回路には、2 個の 40 A コンセントを設けることができない。
4. 50 A 分岐回路には、3 個の 50 A コンセントを設けることができない。

[No. 27] 屋内に施設する電動機の過負荷保護装置を省略できる場合として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、誤っているものはどれか。

1. 電動機の出力が0.2 kW 以下の場合
2. 電動機を運転中、常時、取扱者が監視できる位置に施設する場合
3. 電動機の構造上、その電動機の巻線に当該電動機を焼損する過電流が生じるおそれがない場合
4. 電動機が単相のものであって、その電源側電路に施設する配線用遮断器の定格電流が30 A 以下の場合

[No. 28] 図に示す電動機を接続しない分岐幹線において、分岐幹線保護用過電流遮断器を省略できる分岐幹線の長さ[m]と分岐幹線の許容電流[A]の組合せとして、「電気設備の技術基準とその解釈」上、適当なものはどれか。

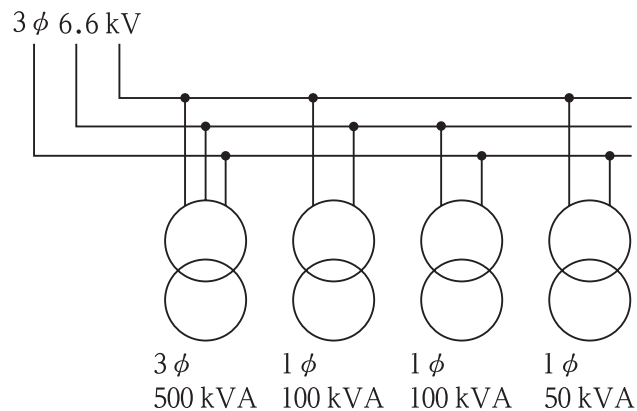


- | | 分岐幹線の長さ | 分岐幹線の許容電流 |
|----|---------|-----------|
| 1. | 4 m | 20 A |
| 2. | 6 m | 30 A |
| 3. | 10 m | 50 A |
| 4. | 12 m | 60 A |

[No. 29] キュービクル式高圧受電設備に関する記述として、「日本産業規格(JIS)」上、不適当なものはどれか。

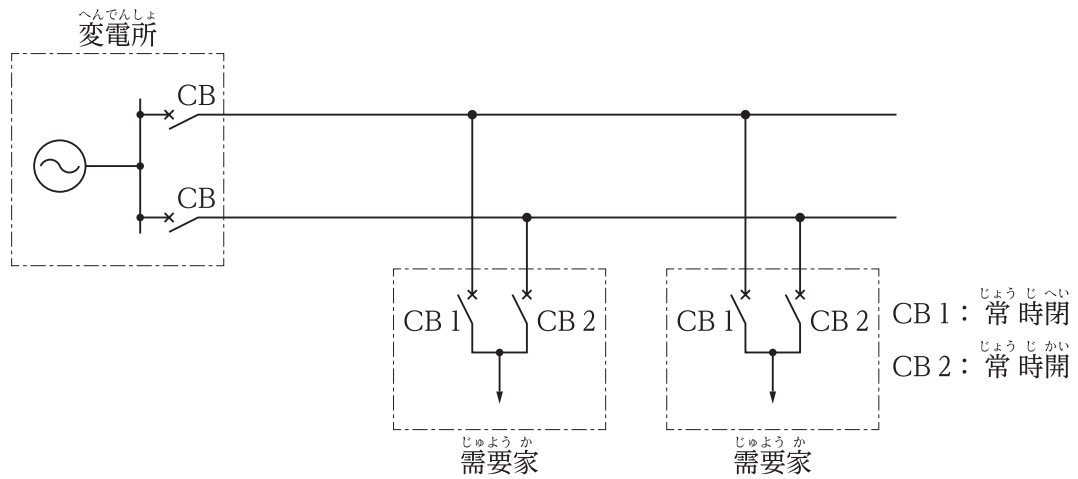
1. 受電箱と配電箱とに区分する。ただし、PF・S形の場合は、区分しない構造であってもよい。
2. PF・S形の主遮断装置に用いる高圧交流負荷開閉器で高圧充電露出部がある場合は、前面に透明な保護板を設ける。
3. CB形に避雷器を取り付ける場合は、主遮断装置の負荷側の直後から分岐し、避雷器専用の断路器を設ける。
4. 扉を開いた状態で、高圧充電露出部がある場合には、容易に触れないよう防護する。ただし、その露出部に絶縁性保護カバーを取り付けた場合は、省略することができる。

[No. 30] 図に示す変圧器で構成される高圧受電設備の設備不平衡率 [%] として、「高圧受電設備規程」上、正しいものはどれか。



1. 10 %
2. 20 %
3. 30 %
4. 40 %

[No. 31] 図に示す需要家の受電方式の名称として、最も適切なものはどれか。



1. 開ループ受電方式
2. 閉ループ受電方式
3. 同系統常用・予備受電方式
4. 異系統常用・予備受電方式

[No. 32] 自家用発電設備におけるガスタービン発電装置に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 使用燃料は、気体燃料に限られている。
2. 本体を冷却するための冷却水を必要としない。
3. ディーゼルエンジンに比べて振動が少ない。
4. ディーゼルエンジンに比べて多量の燃焼用空気を必要とする。

[No. 33] 無停電電源装置(UPS)に関する記述として、「日本産業規格(JIS)」上、**不適当なもの**はどれか。

1. 並列冗長UPSは、常用UPSユニットの故障に備えて、1台以上のUPSユニットを待機させておくシステムである。
2. 常時商用給電方式は、常用電源の電圧又は周波数が許容範囲から外れた場合、インバータは蓄電池運転状態となり、インバータで負荷電力の連続性を維持する方式である。
3. インバータは、直流電力を交流電力に変換する半導体電力変換装置である。
4. 保守バイパスは、保守期間中、負荷電力の連続性を維持するために設ける電力経路である。

[No. 34] A種接地工事を施さなければならない箇所として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、**不適当なもの**はどれか。

1. 高圧の電路に施設する避雷器
2. 高圧計器用変成器の二次側電路
3. 人が触れるおそれがある高圧電路に施設する機械器具の金属製の台及び外箱
4. 屋内の接触防護措置を施していない高圧ケーブルを収める金属製の電線接続箱

[No. 35] 中央監視制御の伝送端末装置と現場機器との入出力条件に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 発停制御を行うための入出力条件を、瞬時接点信号とした。
2. 状態・故障の監視を行うための入出力条件を、無電圧連続接点信号とした。
3. 電流の計測を行うための入出力条件を、無電圧パルス信号とした。
4. 電力量の計量を行うための入出力条件を、無電圧パルス信号とした。

[No. 36] 消防用設備等とこれを有効に作動できる非常電源の容量の組合せとして、「消防法」上、誤っているものはどれか。

	消防用設備等	非常電源の容量
1.	自動火災報知設備	10分間以上
2.	排煙設備	20分間以上
3.	スプリンクラー設備	30分間以上
4.	不活性ガス消火設備	1時間以上





[No. 37] 防火対象物に設置する非常コンセント設備に関する記述として、「消防法」上、定められていないものはどれか。

1. 延べ面積1000m²以上の地下街に設置が必要である。
2. 地階を除く階数が11以上の建築物に設置が必要である。
3. 階ごとに、その階の各部分から一の非常コンセントまでの水平距離は50m以下とする。
4. 床面又は階段の踏面からの高さが0.5m以上1.5m以下の位置に設ける。

[No. 38] 光ファイバケーブルに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. クラッドは、コアより屈折率が低い。
2. 光信号は、光が全反射しながらコアの中を伝搬する。
3. マルチモードは、シングルモードと比べて長距離伝送に適している。
4. テンションメンバ等への電磁誘導対策には、ノンメタリック型の光ファイバケーブルが有効である。

[No. 39] 警報・呼出・表示・ナースコール設備に関する図記号と名称の組合せとして、「日本産業規格(JIS)」上、誤っているものはどれか。

- | | 図記号 | 名称 |
|----|---|-------|
| 1. |  | 押しボタン |
| 2. |  | ベル |
| 3. |  | ブザー |
| 4. |  | 警報盤 |

[No. 40] 電気鉄道におけるトロリ線の摩耗に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- 摩耗には、電氣的摩耗と機械的摩耗がある。
- 摩耗は、通過するパンタグラフの数にほぼ比例する。
- 摩耗の軽減策として、トロリ線の局所的な硬点を少なくする。
- パンタグラフとトロリ線の離線による摩耗は、機械的摩耗である。

[No. 41] 直 流 電気鉄道の変電所を構成する機器として、最も不適当なものはどれか。

- シリコン整流器
- 直 流 高速度遮断器
- スコット結線変圧器
- 回生インバータ

[No. 42] 鉄道信号保安に関する用語の定義として、「日本産業規格(JIS)」上、**不適当なもの**はどれか。

1. 信号とは、合図、標識などで条件・状態を表すことをいう。
2. 閉そくとは、一定区間を1列車だけの運転に専用させることをいう。
3. 転てつ器とは、線路を分岐させるものをいう。
4. 軌道回路とは、列車又は車両を検知するために、レールを用いる電気回路をいう。

[No. 43] 道路照明の用語に関する記述として、「道路照明施設設置基準」上、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 平均路面輝度とは、運転者の視点から見た路面の平均輝度をいう。
2. 誘導性とは、照明の効果により運転者に道路の線形を明示するものである。
3. 視機能低下グレアとは、運転者に心理的な不快感を与える光のまぶしさをいう。
4. 輝度均斉度には、路面上の対象物の見え方を左右する総合均斉度と、前方路面の明暗による不快の程度を左右する車線軸均斉度がある。

[No. 44] 無線LANに用いられる技術に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 「OFDM」は、変調方式の一つである。
2. 「CSMA/CA」は、ネットワークを識別する規格である。
3. 「WPA」は、無線LANで使われるセキュリティの規格である。
4. 「MIMO」は、複数のアンテナを使い、複数のデータを同時に送受信する方式である。

※ 問題番号 [No. 45]から[No. 52]までは、8問題のうちから5問題を選択し、解答してください。

[No. 45] 空気調和設備の熱源機器に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 遠心冷凍機は、往復動冷凍機に比べて大規模の建物に適している。
2. 空気熱源ヒートポンプは、暖房運転では外気温度が高くなると能力が低下する。
3. ガスヒートポンプ冷暖房機は、圧縮機の駆動機としてガスエンジンを使用するものである。
4. マルチパッケージ形空気調和機は、1台の屋外機に対して複数の屋内機を接続し、室内の冷房や暖房を行うものである。

[No. 46] 排水設備に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 伸頂通気管は、直接外気に開放する。
2. 水飲み器の排水は、間接排水としてはならない。
3. 排水管には、トラップを二重に設置してはならない。
4. 雨水排水立管は、汚水排水立管に連結してはならない。

[No. 47] 砂質地盤での土留め(山留め)壁を用いた掘削工事において、ボイリングの発生を防止する方法として、最も関係のないものはどれか。

1. 掘削底面の地盤改良を行う。
2. 土留め壁の根入れを深くする。
3. 土留め壁の支保工を強固にする。
4. 土留め壁背面の地下水位を低下させる。

[No. 48] 水準測量に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 水準点(ベンチマーク)は、水準測量の基準として用いられる。
2. 標尺が前後に傾いていると、標尺の読みは正しい値より大きくなる。
3. レベルの気泡管の泡が正しく中央にないときの誤差は、器械と標尺の距離に反比例する。
4. 移器点(もりかえ点)とは、レベルを移動して据え替えたとき、前視及び後視とともに読み取る点をいう。

[No. 49] 地中送電線路における管路の埋設に関する次の記述に該当する工法として、最も適当なものはどれか。

「操向性のあるパイロット管を発進坑から到達坑まで推進し、このパイロット管を先導管として圧入しながら推進する工法。」

1. シールド工法
2. セミシールド工法
3. 刃口推進工法
4. 小口径推進工法

[No. 50] 鉄道線路に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 建築限界とは、建造物の構築を制限した軌道上の限界のことである。
2. 車両限界とは、線路の負担力を超えてはならない車両重量の限界のことである。
3. 車止めとは、列車または車両が過走あるいは逸走するのを防ぐ設備のことである。
4. 安全側線とは、停車場で列車や車両が逸走して衝突することを防ぐ側線のことである。

[No. 51] 鉄筋コンクリート構造に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. コンクリートの水セメント比が小さくなるほど、圧縮強度は大きくなる。
2. スパイラル筋は、コンクリートのはらみをおさえ、粘り強さを増す効果がある。
3. 柱や梁の主筋は、部材に作用する曲げモーメントによる引張力を主に負担する。
4. 柱のコンクリートかぶり厚さとは、主筋表面からコンクリート表面までの最短距離をいう。

[No. 52] 鉄骨構造に関する用語と関連する語句の組合せとして、最も不適当なものはどれか。

- | 用語 | 関連する語句 |
|---------|---------|
| 1. ウェブ | せん断力 |
| 2. フランジ | 曲げモーメント |
| 3. 筋かい | ターンバックル |
| 4. 摩擦接合 | 溶接 |

※ 問題番号 [No. 53], [No. 54]の2問題は、全問解答してください。

[No. 53] 配電盤・制御盤・制御装置の文字記号と用語の組合せとして、「日本電機工業会規格(JEM)」上、誤っているものはどれか。

	文字記号	用語
1.	DGR	短絡方向継電器
2.	RPR	逆電力継電器
3.	OCR	過電流継電器
4.	UVR	不足電圧継電器

[No. 54] 請負契約に関する記述として、「公共工事標準請負契約約款」上、定められていないものはどれか。

1. 監督員は、設計図書で定めるところにより、受注者が作成した詳細図等の承諾の権限を有する。
2. 受注者は、工事現場内に搬入した工事材料を、監督員の承諾を受けずに工事現場外に搬出してはならない。
3. 受注者は、発注者が設計図書を変更したため、請負代金額が3分の1以上減額したときは、契約を解除することができる。
4. 発注者は、工事完成の検査に合格し、請負代金の支払いの請求があったときは、請求を受けた日から40日以内に請負代金を支払わなければならない。

